

EU トロイカとの会談（結果概要）

平成 21 年 3 月
環境省地球環境局

現 EU 議長国のチェコ・ブルシーク副首相兼環境大臣、次期 EU 議長国のスウェーデン・カールグレン環境大臣、欧州委員会のコントゥ欧州委員会環境担当委員官房長の 3 名は、3 月 13 日（金）、斉藤環境大臣と会談を行った。

1. 斉藤大臣との面会日時

平成 21 年 3 月 13 日（金）16:45～17:45

2. 場所

環境省省議室

3. 同席者

EU 側：チェコ（2009 年前半議長国）ブルシーク副首相兼環境相
スウェーデン（2009 年後半議長国）カールグレン環境大臣
欧州委員会 コントゥ欧州委員会環境担当委員官房長
ほか在京大使など

日本側：斉藤環境大臣、竹本地球環境審議官、南川官房長、
寺田地球環境局長、森谷審議官ほか

4. 言語

日本語－英語（EU 側が通訳を用意）

5. 会談のポイント

○会談では、

- ・ COP15 に向けた国際交渉において、中国・インドなどの主要途上国の参加を促していくための、日、米、EU の連携の重要性
- ・ 先進国の野心的な目標が途上国の積極的な行動を引き出すこと
- ・ 昨今の金融危機を、気候変動対策を進める機会ととらえ、いわゆるグリーンニューディール政策を通じて積極的に対応すべきこと

などについて認識が一致。

○また、斉藤大臣から、我が国はコベネフィット・アプローチや日中韓環境大臣会合などを通じて、中国の努力を引き出していきたい、と伝えた。